



ファシリティーマネジメントフォーラム2022

VUCA・ニューノーマル時代の
FMプロジェクトマネジメントとは

FMプロジェクトマネジメント研究部会

- VUCA(不確実)でニューノーマルな時代を背景に、今後企業にとって働き方・働く場はどうあるべきか、どのようにオフィスづくりを行っていくべきか
- オフィス整備や移転におけるF Mプロジェクトにまつわる様々な視点から、パネルディスカッション形式で読み解きます

アジェンダ



部会紹介



パネリスト紹介

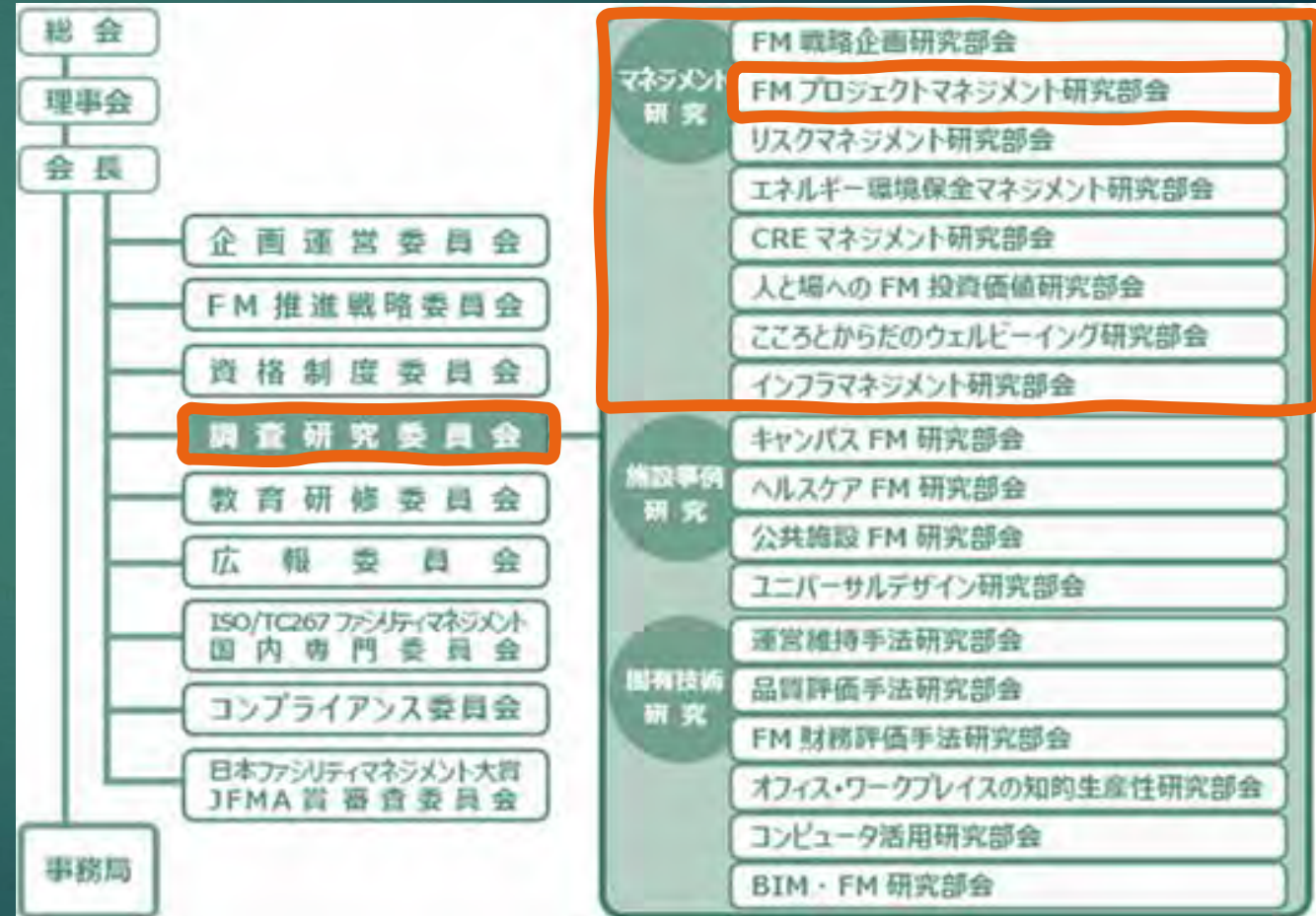


PD

FMプロジェクトマネジメント研究部会とは

調査研究委員会配下の**18**部会
 マネジメント研究分野**8**部会
FMプロジェクトマネジメント領域

インハウス：サプライヤーが**50 : 50**
 幅広いメンバーの知見



FMPM調査研究の主旨と手法

・主旨

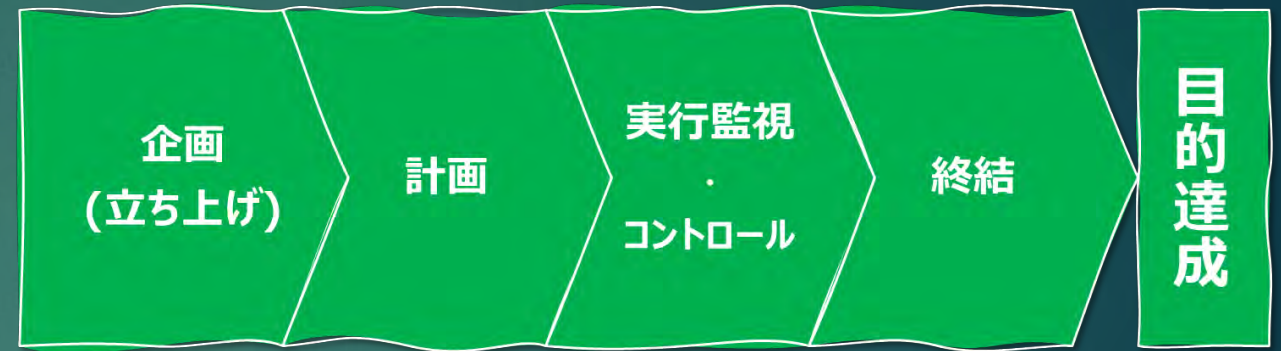
ワークプレイスを**第四の経営基盤**とした企業の**FMPM力向上**に**寄与**する、**調査研究**と**養成普及**を行う

手法

- ・先進ワークプレイスプロジェクト事例視察 etc
- ・**新たな要求課題への対応策の考察**

4分科会での調査研究

従来のFMPPM(ウォーターフォール型)



新たな調査研究テーマ (4つの分科会)

- ・Withコロナからニューノーマル時代のオフィス
- ・PM固有技術
- ・デザインマネジメント
- ・SDGs

アジェンダ



部会紹介



パネリスト紹介



PD

・リーダー 加藤真司 株式会社ナイキ



調査研究概要

VUCA・ニューノーマル時代の働き方・
ツール・働く場の動向

Withコロナからニューノーマル時代のオフィス研究分科会

⇒ オフィスは企業文化とコミュニケーションを支える場所へ



Withコロナからニューノーマル時代のオフィス研究分科会

⇒ オフィスは企業文化とコミュニケーションを支える場所へ

オフィスの変遷



・リーダー 関戸友香 株式会社ザイマックス



調査研究概要

VUCA・ニューノーマル時代の経営に必要な結果を得るためのPM技術

テーマ：【アジャイル】

①迅速な、俊敏な②不確実性に向き合う

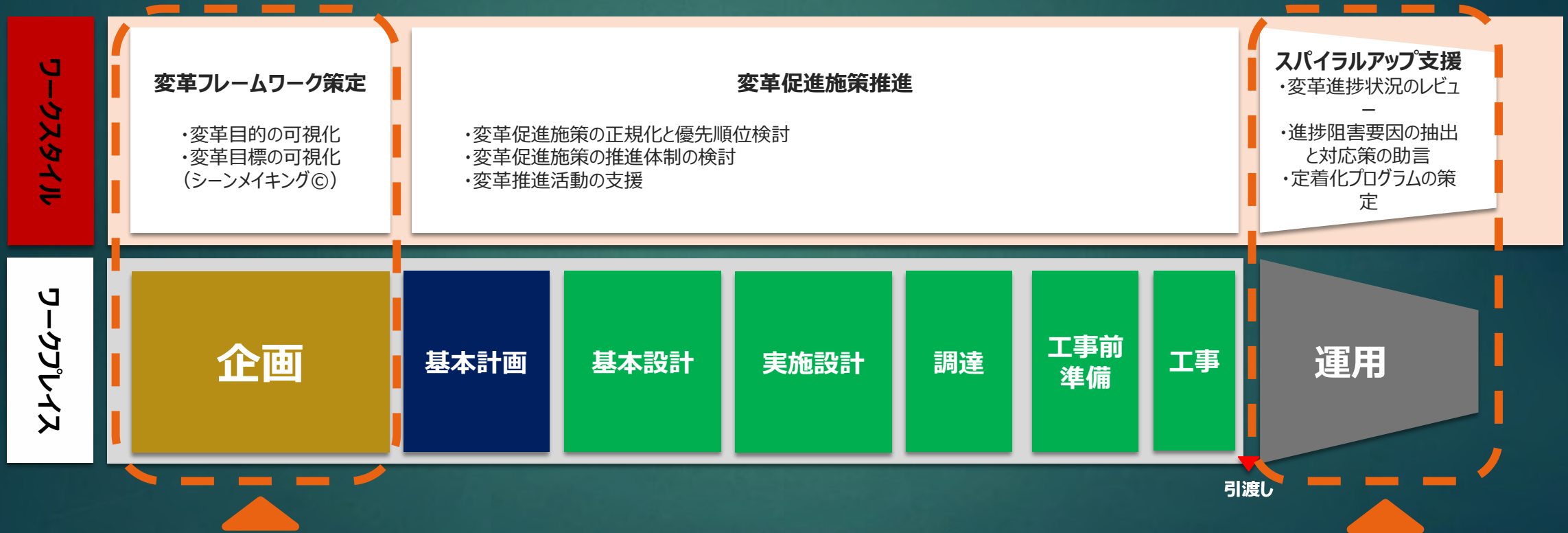
PM固有技術分科会：アジャイルの適用範囲

PM部会流「アジャイル」の定義

①「迅速な、俊敏な」

②「不確実性に向き合う」

出所：内田洋行 働き方変革コンサルティングの
主なサービスメニュー
<https://office.uchida.co.jp/solution/workstyle/>
出所：オフィス移転業務フロー完全マニュアル



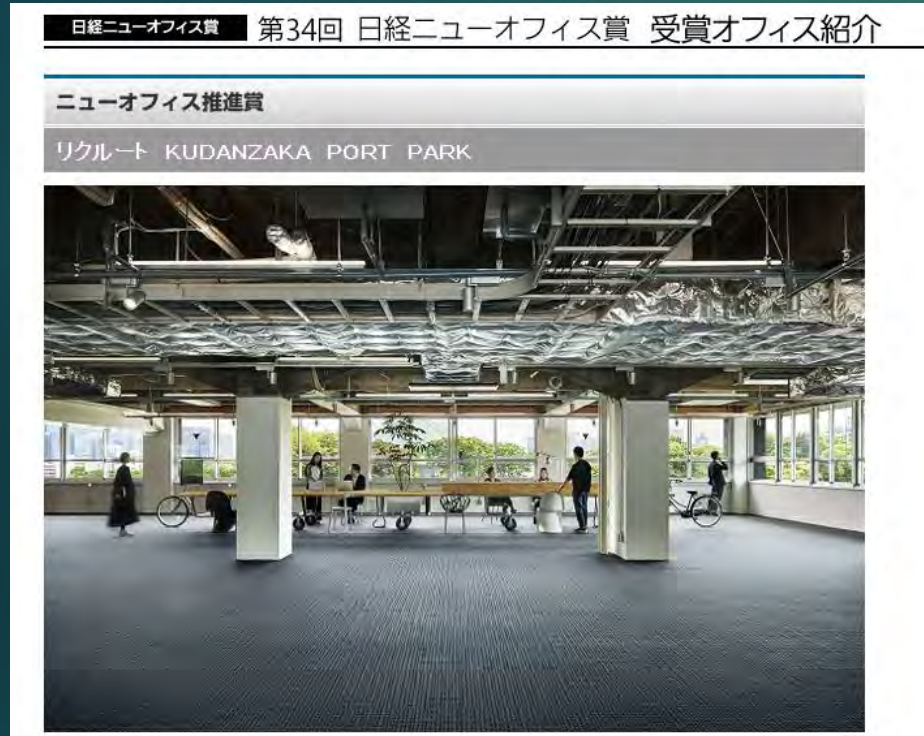
- ・成長型パイロット
- ・ワークショップで要件整理 等

**ワークプレイス自体に
可変性を持たせること**

PM固有技術分科会：可変性をもたせる手法例

1. フレキシビリティ

リクルート KUDANZAKA PORT PARKの事例調査研究



<http://www.nopa.or.jp/prize/contents/prize/2021/recruit.html>

- ✓ 動かせる什器の導入
- ✓ 工事による間仕切りを最小限に

2. データ活用

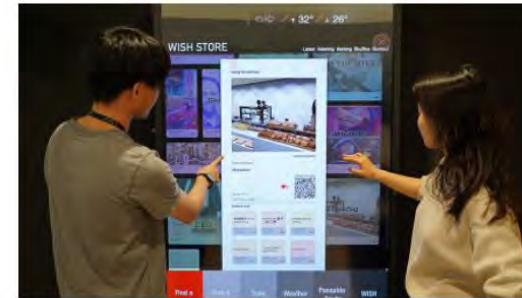
出所

<https://global.toyota/jp/newsroom/corporate/33685375.html>

社員の想いを詰め込んだオフィス

オフィスづくりの過程では、希望する社員全てが参加可能なワークショップやヒアリングを定期的に行い、アジャイルなソフトウェア開発のためのスクラムに適したハニカム（ハチの巣）型デスクレイアウトの採用やパーソナルモビリティの導入など、社員の想いやアイデアを数多く取り入れてきました。

また、新たに「WISH STORE/WISH TOWN」と呼ばれるシステムを取り入れ、社員とともに成長し続けるオフィス作りに取り組んでいます。「WISH STORE」では、社員がオフィスに対する希望＝「WISH」を「WISH STORE」に登録し、他の社員が共感した場合は「いいね」をクリックする形で応援します。それぞれの「WISH」は建物として「WISH TOWN」というバーチャルな街に現れ、「WISH」の「いいね」が多くなると建物が大きくなり、「WISH TOWN」が育っていきます。社員から募集したアイデアを実現するためのコミュニケーションにも工夫を凝らし、社員が一体となり楽しみながらオフィスを作る環境を整えています。



WISH STORE



WISH TOWN

- ✓ 客観的なデータに基づき定点的に評価
- ✓ 恐れずにスピード感をもって改善

・リーダー 山下哲雄 合同会社 物と事の作業室



調査研究概要

VUCA・ニューノーマル時代におけるワークプレイスデザインの意味

VUCA・ニューノーマル時代におけるオフィスのデザインマネジメントとは何か。
 調査研究により、デザインは機能や感性だけではなく市場経済をも反映させる行為でもあることが判明しました。
 これを研究の成果とし、そこからオフィスのデザインマネジメントの手法を仮説立案し、検証しています。

〈文献調査〉
 デザイン⇒意匠を含めた問題解決のための総合的な手段

計画 設計 構想など

情報処理 問題解決

工学的な技術（設計）

美術的な技術（意匠）

すべてがデザインの範囲！

〈仮説〉
 オフィスの変化

企業にとっての設備投資

↓

ワーカーにとっての消費対象

（自分に合った自分の好きなオフィスで働きたい！）

- ・働き方の多様化とABWの普及
- ・サテライトオフィス市場の拡大と多様化
- ・メディアで様々なオフィスが魅力的に露出

〈参考事例〉
 企業戦略としてのプロダクトデザインマネジメント

40%

30%

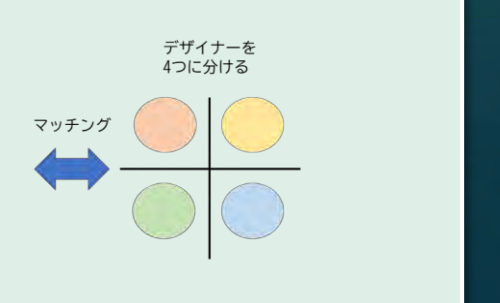
20%

10%

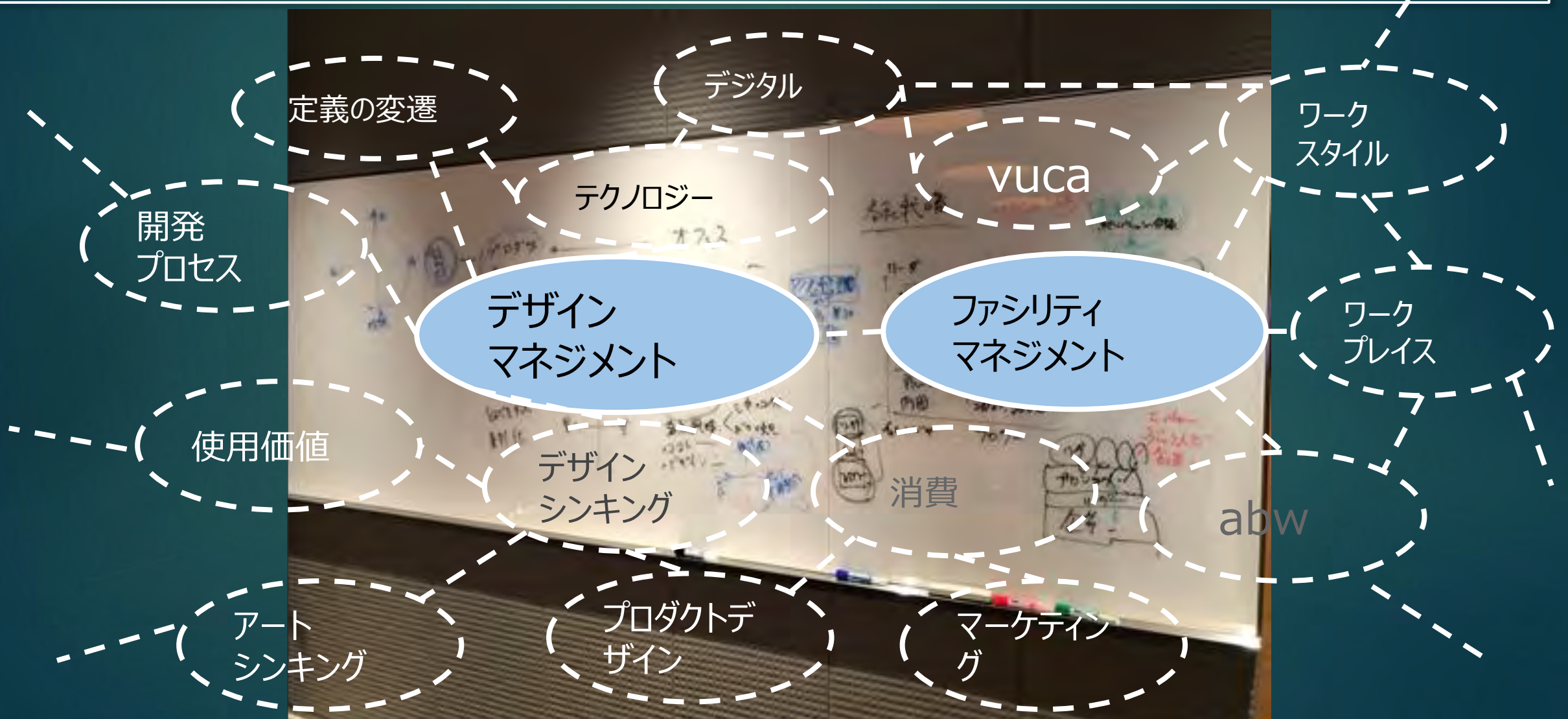
FMにおけるPMのデザインマネジメント
 手法試案
企業戦略としてのオフィスのデザインマネジメント

企業の市場ドメインにオフィスデザインを対応させる
 →適切なデザイナーの選定手法の試行

		量的経営資源	
		大	小
質的経営資源	高	リーダー 全方位	ニッチャー 集中化
	低	チャレンジャー 差別化	フォロワー 模倣



デザインマネジメントの研究は、デザインとF Mの結合から生れる様々な可能性を探り、それを現場のP Mが活用できるよう現在作業の進行中です。



・リーダー 菅野誠 三幸エステート株式会社



調査研究概要

VUCA・ニューノーマル時代に経営手段として必要な脱炭素などの課題に対し
ファシリティマネジャーの視点で何をすべきか研究

資料

⇒身近なことから始めるFMerが考えなければならないSDGsへの取り組み

⇒Well Being（WELL認証）を研究しファシリティマネジャーがすべきレベル感のエビデンスを検証

→詳しくは発刊予定のSDGsタスクフォースレポートに掲載

アジェンダ



部会紹介



パネリスト紹介



PD

・テーマ1

各分科会視点から、
働き方・働く場にとって、
コロナ前後で最も変わったことを
一つ上げてください

・テーマ2

各分科会視点から、
今後、経営者やワーカーにとって
働き方・働く場が更にどうなっていくか
予見を教えてください

まとめ



部会紹介



パネリスト紹介



PD

不確実な社会変化を背景に
「働き方」はより多様性を持ち常に変化していくため、
「働く場」は多様性と変化に柔軟に対応することが
重要である

不確実性に挑むFMプロジェクトマネジメントの調査研究は続きます

当部会の調査研究にご関心のある方はJFMAホームページにて申し込み、
または部会事務局までメールください。

ご清聴ありがとうございました。

メール宛先

○ JFMA FMPM部会事務局

○ 福島 伸太郎

s-fukushima@jfma.or.jp

